

「(仮称)旧上瀬谷通信施設公園基本計画(原案)」を策定しました

旧上瀬谷通信施設については、令和2年3月に「旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画」を公表し、まちづくりの一環として新たな公園の整備を計画しています。

このたび、(仮称)旧上瀬谷通信施設公園について、令和2年度に行った基本計画(素案)に関する市民意見募集でいただいたご意見をもとに、関連事業の進捗などを踏まえた検討を加え、基本計画(原案)を策定しました。

(仮称)旧上瀬谷通信施設公園 基本計画(原案)

公園計画の 基本テーマ

「みどり」で広がる暮らしの風景

花と緑、農、水の風景が広がる上瀬谷で、「みどり」とともにある持続可能で多様なライフスタイルを実践・発信する。

公園整備の 8つの方針

1. 上瀬谷の「緑」と「水」を基調とした公園

上瀬谷の原風景である農景観や、米軍施設の跡地という独自の歴史性により残された自然をいかした緑豊かな公園とします。

2. 国際園芸博覧会のレガシーの継承・発信拠点

博覧会の跡地にできる記念公園として、SDGsの実現やSociety5.0、カーボンニュートラルの推進等の博覧会の理念などを継承していく公園とします。

3. 「農」と持続可能なライフスタイルの融合

農体験ができる場の創出など、上瀬谷の農と持続可能なライフスタイルが融合し実践する場とします。

4. グリーンインフラの展開と緑の多面的機能の発信

グリーンインフラの導入によって自然がもつ様々な機能を発信し、気候変動に適応した新たなモデルとなる公園とします。

5. 多様な主体が参画し、様々な楽しみ方を引き出せる公園

市民や企業、周辺まちづくりなどと連携し、地域の祭りや広域的なイベント、スポーツやレクリエーション、公園の維持管理など、様々な場面で多様な主体が参加・運営することができる公園とします。

6. 四季を通じて楽しみながら自然と触れ合う心地よさや喜びを感じられる公園

豊かな自然環境の中で、自然とともにある心地よさや喜びを感じながら、自然体験や環境学習などが行える公園とします。

7. 防災・減災に資する公園

できる限りまとまったオープンスペースを確保することで、災害時には「広域応援活動拠点」や、地域の避難場所として防災機能を発揮するとともに、グリーンインフラの効果による減災機能も発揮できる公園とします。

8. 公民連携による質の高いサービスの提供

民間活力の導入により、公園の利便性の向上と賑わいを創出する機能を配置します。

